

次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）
「プラネタリーヘルスを担う博士人材育成のための学際的教育システムの構築」事業
令和8年度募集要項 ※4月入学・進学者向け（社会人枠）

1 プログラムの目的等

<プログラムの目的>

本プログラムは、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実施する「次世代研究者挑戦的研究プログラム」により、我が国の科学技術・イノベーションの将来を担う優秀な志ある博士後期課程学生への経済的支援を強化し、博士人材が幅広く活躍するため従来の枠にとらわれない多様なキャリアパスの整備を進めることにより、博士後期課程学生を様々なキャリアにおいて活躍できる博士人材へと導くことを目的とするものです。

<事業の概要>

本学は、「プラネタリーヘルス（地球の健康）の実現」に貢献する教育研究拠点となることを第4期中期目標に掲げています。プラネタリーヘルスとは、地球環境問題、エネルギー開発・食糧水資源問題を筆頭に地球規模で生じている諸問題を解決するための人間の意識変容や行動変容を促すことです。その実現に向けて、既存の学問領域を超えた学際的な俯瞰的視野に立ち、世界的規模の課題に取り組むために大学院教育を強化するため、令和6年度に工学部、情報データ科学部、環境科学部、水産学部を基礎学部とする総合生産科学研究科を設置しました。

本事業は、同研究科において、特にブルーエコノミー、グリーンサイエンス、カーボンニュートラル分野の博士人材の輩出を目指し、研究奨励金及び研究費（以下「研究奨励金等」という。）を支給することにより、博士後期課程学生が主体的に自らの挑戦的・融合的研究に専念できる環境を整えます。また、博士人材に求められる力の中で特に重要な能力に対するトランスファラブルスキル認定書の授与や、研究科の多彩な科目群をシームレスに受講することや海外研修を行うことにより、学生自身の研究分野にとらわれない複数のバックグラウンドとグローバルな視点を涵養します。加えて、アントレプレナー能力養成科目を受講することにより、ベンチャー企業を起業する精神を養成します。さらに、文部科学省が推進しているジョブ型研究インターンシップを活用するとともに、成長著しいDX・GXや半導体関連分野の企業と連携した独自のジョブ特化型研究インターンシップ制度を構築し、博士人材が幅広く活躍するための多様なキャリアパスの整備に取り組み、これらを全学的に共有・展開するものです。

なお、制度の見直しに伴い、令和8年度から社会人学生への研究費支援を開始することとなりました。

2. 申請資格

本事業に申請できる者は、次の①から③までの要件の全てを満たす者としてします。

- ① 令和8年4月1日において、次に掲げるいずれかに該当する者（該当する見込みであるものを含む。）
 - (1) 大学院総合生産科学研究科博士後期課程に入学または進学し、同専攻1年次に在学する者
 - (2) 大学院総合生産科学研究科博士課程（5年一貫制）3年次（在学月数24ヶ月以上36ヶ月未満）に在学する者
- ② 本プログラムの目的を理解し、本事業で実施する内容に取り組むことができるとともに、優れた研究能力を有し、研究に専念することを確約できる者

③ 次のいずれにも該当していない者

- (1) 独立行政法人日本学術振興会の特別研究員（確定している者を含む。）
- (2) 国、民間団体等から生活費に係る十分な水準（年間 240 万円以上）の奨学金を得ている者

3. 採用後の義務等

本事業採用者は、次の義務等を負います。

- (1) 特別学外研究（インターンシップ）科目の単位取得のため、学会大会や研究会等に 2 回以上参加（内 1 回は国際大会もしくは全国規模の大会（年次大会など））し、発表と討論を行う。加えて、興味のある発表 5 件以上（1 回の学会あたり 3 件以内）に対し、それら発表および討論の内容のレビューとしてまとめること。
- (2) 年度毎に研究実施内容についての報告書を提出すること。
- (3) JST が実施するモニタリング調査へ協力すること。
- (4) 本事業による育成成果を評価するため、博士（後期）課程修了後から 10 年間、本学が実施するキャリアに関する追跡調査に協力すること。
- (5) 研究成果を発表する場合は、本事業により助成を受けたことを表示すること。また、論文の Acknowledgment（謝辞）に、本事業により助成を受けた旨を記載する場合には「JST SPRING, Grant Number 10 桁の体系的番号」を含めること。論文投稿時も同様です。本事業の 10 桁の体系的番号は、「JPMJSP2172」です。
論文中の謝辞（Acknowledgment）の記載例は以下のとおりです。
【英文】 This work was supported by JST SPRING, Japan Grant Number JPMJSP2172.
【和文】 本研究は、JST 次世代研究者挑戦的研究プログラム JPMJSP2172 の支援を受けたものです。

4. 採用者の氏名公表

採用者については、総合生産科学研究科のホームページで氏名を公表します。

5. 研究費の支給額及び支給方法

研究費：年額 40 万円

- ・分野融合や挑戦的な研究の実施、海外派遣などを支援するものです。
- ・本学の会計規則等に沿って使用する経費であるため、指導教員が管理する予算として配分しますので、指導教員の助言等を仰ぎながら計画的に使用してください。
- ・用途については年度末の報告が必要です。なお、未使用額は翌年度に繰り越しが可能です。

※ 入学後に来日できていない外国人留学生は、来日してからの支給となります。

6. 支給期間 原則 3 年間

※ 休学の場合は原則支給資格を喪失しますが、復学後に再開する等の取扱いをする場合があります。

7. 採用予定人数 12 人

※ 令和 8 年 4 月入学・進学者向けの本公募では 9 人、令和 8 年 10 月入学・進学者向けの公募では 3 人の採用を予定しています。

8. 申請手続き等

① 申請期限 令和8年2月27日（金）15時まで ※郵送は必着有効

② 申請方法

以下の申請書類を総合生産科学域事務部大学院系の窓口へ提出（土・日、祝日を除く。）してください。また、研究計画書（様式2）は、電子データも次のメールアドレス宛に提出してください。

メールアドレス：seisan_daigakuin@ml.nagasaki-u.ac.jp

- (1) 給付希望届（様式1）
- (2) 研究計画書（様式2）
- (3) 自己評価書（様式3）
- (4) 指導（予定）教員が作成した推薦書（様式4）

【個人情報の取扱い】

申請書類に記載されている個人情報は、選考以外には使用しません。

③ 選考方法

提出された申請書類をもとに、審査委員会において以下の観点に基づき審査を行います。

<選考の観点>

- (1) 伝統的なフレームワークにとらわれず、柔軟で挑戦的かつ異分野を融合させた学際的研究内容であること。
- (2) 研究に関する自身の強み、グローバル視点に基づく地球規模の課題の解決あるいは国際的アカデミアや産業界で活躍する実力を培うために必要なこと及び目指す研究者像などを分析・認識し、その達成に向けた明確なビジョンを有していること。
- (3) 我が国の科学技術・イノベーションの将来を担う優秀な研究者となる素質と意欲を有していること。

④ 選考スケジュール

2月27日（金）15時 申請書締切

3月上旬～中旬 書類審査

3月下旬 採用者決定（ホームページにて発表）

※上記については予定であり、変更となる可能性があります。

9. 注意事項

受給制限について

- ・ 授業料に対する援助が目的の助成金（授業料免除等）については、重複受給が可能です。
- ・ 学会からの学術賞等の賞金（副賞としての「金券」を含む）、外部研究費等を受けて研究を行うこと、国や地方公共団体、民間助成団体等の研究費への応募も可能です。
- ・ 給付型奨学金については、日本学生支援機構（JASSO）において併給を不可としている可能性がありますので、必ず JASSO に確認してください。また、令和5年度以降に JASSO の第一種奨学生として採用された学生については、「特に優れた業績による返還免除」の対象から外れます。詳細については JASSO のウェブページで確認してください。

10. 支給の取消

- ① 退学若しくは標準修業年限を超えたときは、支給を取り消します。
- ② 以下のいずれかに該当するときは、支給の取り消しを行います。
 - (1) 心身の故障のため修学を継続する見込みがなくなると認められるとき。
 - (2) 学業の成績又は性行が著しく不良となったと認められるとき。
 - (3) その他支給対象者として不相当と認められるとき。